

重要文化財「札幌農学校第2農場」の屋内公開を開始

【概要】

重要文化財「札幌農学校第2農場」は、冬期間の屋内公開休止を終え、産室追込所耕馬房・穀物庫・牝牛舎内を一般公開します。なお、建物外観や前庭は通年公開しています。

屋内公開日程：2019年4月29日（月・祝）～11月3日（日・祝）

10：00～16：00（毎月第4月曜日休館）

※屋外公開 8：30～17：00（通年）

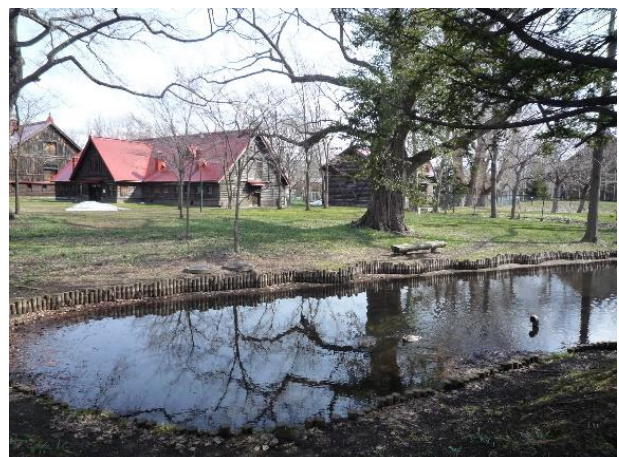
所在地：札幌市北区北18条西8丁目（北海道大学札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上）地下鉄南北線北18条駅より西方向に徒歩6分

【趣旨】

札幌農学校第2農場は、クラーク博士の構想により北米東部の畜産農家をイメージした農学校附属研究・教育農場として発足しました。明治10年に建設された日本最古の洋式農業建築である産室追込所耕馬房（モデルバーン）と穀物庫（コーンバーン）を有し、日本農業近代化のモデルとして畑作・酪農技術向上に寄与した当施設は、国の重要文化財、北海道遺産などにも指定されています。各施設の設計や構造は、現在の家畜飼養施設における課題を提示し、また草類を家畜に与えることによる動力、牛肉、牛乳、乳製品生産、さらに豚肉生産は、家畜産業の原点ともいべき思想を伝えています。これらは、北海道開発の過程を語るうえで貴重な資料となっています。

明治期の建築として高い評価を受けているだけでなく、景観的にも優れているその佇まいから、教職員、学生のほか、多くの観光客や市民の皆様が来場されています。北海道開拓時代、そして札幌農学校の歴史を感じることでできる札幌農学校第2農場へ、ぜひお越しください。

※札幌農学校第2農場ホームページ <https://www.museum.hokudai.ac.jp/outline/dai2noujou/>



札幌農学校第2農場

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（理学・生命科学事務部事務課博物館担当）

T E L 011-706-2658 F A X 011-706-4029 メール museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp